

レジ袋有料化でプラスチックゴミのことに 考えてみましょう！

去る7月1日からレジ袋有料化が始まりました。今まで何気なくもらっていたレジ袋が有料化になったことで、この機会に私たちをとりまくプラスチックゴミの問題について考えてみましょう。さらにプラスチックとの付き合い方を見直してみましょう。

レジ袋をもらわないことで海のプラスチックゴミ問題について思いをはせてみましょう。宇治川や木津川や桂川などの淀川水系から出たプラスチックゴミは大阪湾に流れついています。関西広域連合の調査によると、大阪湾に滞留しているプラスチックゴミはビニール約610万枚、レジ袋約300万枚と推計されており、大変な量になっています。



地球規模で考えると海を漂流しているプラスチックゴミがあり、太平洋には漂流したゴミが集まるプラスチックのスープになったような場所ができているという報告もあります。

さらに海に流れたプラスチックゴミは紫外線や海の流れて5ミリ以下のマイクロプラスチックになります。大阪湾では、魚の体内の約5割からマイクロプラスチックが確認されたという報告もあります。

そこで私たちはどうするの???

まず日々の買い物でマイバックを持参して「**レジ袋はいりません**」としっかりレジ袋を辞退して、プラスチックゴミの削減に踏み出してみましょう。

日々の生活の中で3R(スリーアール)に取り組んでみましょう！

Reduceリデュース…むだなゴミの量をできるだけ少なくすること。
レジ袋をもらわない、つめかえできる製品を買うなど

Reuseリユース…一度使った物をゴミにしないで何度も使うこと。
壊れた物を修理して使う、いらなくなったものを必要な人にゆずるなど

Recycleリサイクル…使い終わったものを資源として再び利用すること。
ゴミはしっかり分別して地域の分別回収に出すなど



クイズ

(問1)大阪湾に滞留しているレジ袋は約何枚と推計されていますか？

(答え)約300万枚

(問2)レジで「レジ袋はいりませんか？」と聞かれたら、あなたはどうか答えますか？

(答え)「レジ袋はいりません」と辞退しましょう